

本書について

概要

- ◎本書は「ハイブリッドカー整備マニュアル VOL.7（令和6年10月初版発行）」の続編です。
今作は、トヨタ、日産、ホンダのハイブリッドカー及び電気自動車を計8車種ピックアップしてまとめました。
収録車種は、下表の通り。

メーカー	車名	型式	収録頁
トヨタ	1. アルファード／ヴェルファイア	HH4,HP4系	P.2～
	2. カローラクロス	ZVG13・16系	P.27～
	3. クラウンスポーツ	AZSH36・37系	P.47～
日産	4. アリア	FE0系	P.74～
	5. セレナ	C28系	P.91～
ホンダ	6. N-VAN e:	JJ3系	P.109～
	7. フリード	GT5～8系	P.123～
	8. ヴェゼル	RV5・6系	P.139～

※整備要領は各車種の扉頁目次を参考にしてください。

※本書発刊後、車種のマイナーチェンジ等により記載された整備内容に変更や追加等が出てくる可能性があります。あらかじめご了承ください。

特別教育に係る電気に関する基礎知識などは収録していません

- ◎「ハイブリッドカー整備マニュアル（平成22年1月初版発行、特別教育に対応）」の総説部分（下表の項目）については収録していません。

未収録項目	備考
電気に関する基礎知識	「ハイブリッドカー整備マニュアル」 （平成22年1月初版発行）を参照してください。
安全作業用具に関する基礎知識	
救急処置	
事故で損傷を受けた車両の措置	
関係法令	

注意 !!

- 高電圧回路に関わる点検・整備を行うエンジニアには労働安全衛生法第59条ならびに労働安全衛生規則第36条により、特別教育の受講が義務付けられています。
- 高電圧回路の故障診断など電圧を遮断していない状態での作業や、ハイブリッドバッテリー等に関わる作業を実施する際には、必ず絶縁手袋を装着し、絶縁工具を使用すること。

1. アルファード／ヴェルファイア（HH4,HP4 系）

《目 次》

1	法定項目の判定基準値	3
----------	-------------------	---

2	メーカー指定項目	4
----------	-----------------	---

3	サービスデータ	
▪	ジャッキアップポイント	6
▪	エンジンオイル	6
▪	エンジンオイル以外の油脂・冷却液	7
▪	トランスミッタバッテリーの型式	7
▪	スパークプラグの型式と修理後点検	7
▪	ワイパーサイズ	8

4	補機バッテリー	
▪	バッテリーマイナス端子取外し後の初期化設定	8
▪	補機バッテリー型式	8
▪	バッテリー上がり時の処置	8

5	サービスプラグ脱着	
▪	部品配置図	9
▪	取り外し（HEV モデル）	10
▪	取り付け（HEV モデル）	10
▪	取り外し（PHEV モデル）	11
▪	取り付け（PHEV モデル）	11

6	ゼロボルトの確認	
▪	HEV モデル	11
▪	PHEV モデル	12

7	整備モード	
▪	整備モードと主な使用目的	12
▪	整備モード （2WD（排ガス測定用））への移行操作	13
▪	整備モード （2WD（TRC 禁止用））への移行操作	13
▪	整備モード （4WD（排ガス測定用））への移行操作	13
▪	整備モード （4WD（TRC 禁止用））への移行操作	14
▪	整備モード解除操作	14

8	IG OFF にできない場合 / レッカー、キャリアが必要なケース	
▪	IG OFF にできない場合	14
▪	レッカー、キャリアが必要なケース	14

9	ブレーキフルード 取替	
▪	取り扱い・作業上の注意	15
▪	GTS 使用時 ブレーキフルード 取替	15
	ブレーキライン エア抜き	16
	ブレーキシステム エア抜き	16
▪	GTS 不使用時 ブレーキフルード 取替	17
	ブレーキフルード 量点検	17
	ブレーキライン エア抜き	17

10	エンジン冷却液 取替	18
-----------	-------------------	----

11	インバータ冷却液 取替	20
-----------	--------------------	----

12	トランスアクスルフルード 取替	21
-----------	------------------------	----

13	リヤトラクションモータフルード 取替	23
-----------	---------------------------	----

14	前照灯の光軸調整方法	
▪	アルファード	24
▪	ヴェルファイア	24

15	リレーロケーション	
▪	エンジンルーム	25
▪	ボデー	26



	冷却装置	ラジエータキャップ 開弁圧 [kPa{kgf/cm ² }]	基準値	74 ～ 103{0.8 ～ 1.1}
			限度値	59{0.6}
ばい煙・ 悪臭のあ るガス有 毒なガス 等の発散 防止装置	排出ガス防止装置	アイドル CO 濃度 [%]		1.0 以下
		アイドル HC 濃度 [ppm]		300 以下

(※ 1) : FF車 (※ 2) : 4WD車

(※ 3) : 前輪のすべての車輪がロックし計測困難な場合は、その状態で総和に対して適合するものと見なす。

(※ 4) : パーキングブレーキスイッチを2度引き（ロック操作を2回）すると最大の制動力が作用する。

(※ 5) : 整備モード（排ガス測定用）、シフトPポジション

2 メーカー指定項目

点検整備方式（点検整備時期）

《シビアコンディション》

【自家用乗用】条件A：悪路（凸凹路、砂利道、雪道、未舗装路） B：走行距離が多い C：山道、登降坂路の頻繁な走行 D：短距離走行の繰り返し E：高地走行が多い（標高2,000m以上の高地）（ディーゼル車のみ） F：長時間のアイドリングまたは、多頻度の低速走行（ディーゼル車を除く）

【レンタカー等】条件A：悪路（凸凹路、砂利道、雪道、未舗装路） B：山道、登降坂路の頻繁な走行 C：短距離走行の繰り返し D：高地走行が多い（標高2,000m以上の高地）（ディーゼル車のみ） E：長時間のアイドリングまたは、多頻度の低速走行（ディーゼル車を除く）

点検整備項目			点検整備時期				備考	
			自家用乗用			走行キロ 毎交換 (千km)		年毎交換 (年)
			6 か 月毎	12か 月毎	24か 月毎			
かじ取り 装置	ギヤ・ボックス	取付けの緩み		◇				条件A、B、C
	ロッド 及びアーム類	ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂及び損傷		◇				条件A、B、C
制動装置	ホース及びパイプ	漏れ、損傷及び取付状態	◇					条件A、B、C
		ブレーキホース交換				200	15 4	【自家用乗用】 【レンタカー等】
	リザーバ・タンク	ブレーキフルード交換					2 [3] 2	【自家用乗用】 [] は第1回目 【レンタカー等】
	マスタ・シリン ダ、ホイール・シ リンダ及びディス クキャリパー	マスタシリンダのカップ 及びブーツ等ゴム部品交換					4	【レンタカー等】
		ディスクキャリパーのシール 及びブーツ等ゴム部品交換					4	【レンタカー等】
	ブレーキ・ドラム 及び ブレーキ・シュー	シューの摺動部分 及びライニングの摩耗	◇					条件A、B、C
		ドラムの摩耗及び損傷		◇				条件A、B、C
	ブレーキ・ディスク 及びパッド	パッドの摩耗	◇					条件A、B、C
		ディスクの摩耗及び損傷		◇				条件A、B、C
緩衝装置	取付部及び連結部	緩み、がた及び損傷		◇				条件A、B、C

エンジンオイル以外の油脂・冷却液

項目		容量 [L] (参考値)	指定油脂
冷却液	エンジン	8.5 (* 1) 9.2 (* 2)	トヨタ純正
	インバータ	1.3 (* 1) 2.0 (* 2)	スーパー LLC
ハイブリッド ピークルトランス アクスフルード		4.3 (* 1) 4.4 (* 2)	トヨタ純正 オートフルード
リヤトラクション モータフルード		1.7	WS
ブレーキフルード		1.5	・トヨタ純正 ブレーキフルード 2500H-A ・ブレーキフルード J-4 (DOT4)
A/C コンプレッサー オイル		-	ND-OIL11

(* 1) : HEVモデル (* 2) : PHEVモデル

トランスミッタバッテリーの型式

リチウム電池 (CR2450)

スパークプラグの型式と修理後点検

メーカー	型式
DENSO	FC16HR-Q8

《スパークプラグ修理後点検》

◎エンジン状態確認…以下のどれかに当てはまる場合は学習値初期化とアイドル学習を行う

- ・部品交換前にエンジン関係のダイアグコードが出力していた。
- ・部品交換前のデータモニタ [A/F学習値 (A/Fアイドル学習値 (Port) バンク1、A/F低負荷学習値 (Port) バンク1、A/F中負荷学習値No.1 (Port) バンク1、A/F中負荷学習値No.2 (Port) バンク1、A/F高負荷学習値 (Port) バンク1、A/Fアイドル学習値バンク1、A/F低負荷学習値バンク1、A/F中負荷学習値No.1バンク1、A/F中負荷学習値No.2バンク1、A/F高負荷学習値バンク1のいずれか)] が、±20%を外れていた。
- ・部品交換後に、始動不良、ラフアイドル、エンストがある。

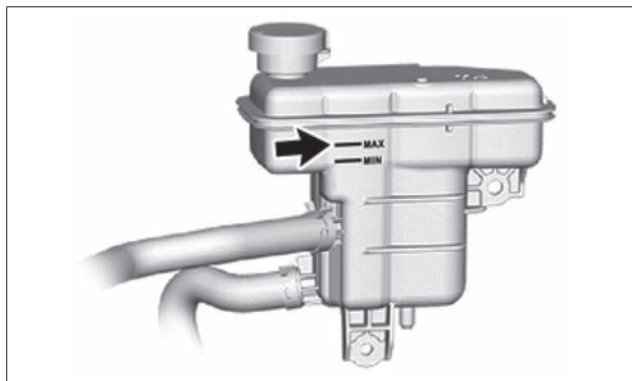
※本車両のエンジン学習値は、補機バッテリーマイナスターミナル取りはずし、または EFI NO.6ヒューズの取りはずしでは初期化されない。

1 学習値初期化

- ①GTSを使用して、以下のメニュー項目を選択する。
パワートレイン > エンジン > 作業サポート > 学習値初期化
- ②画面に表示される以下の条件を確認する。
 - ・IG ON
 - ・エンジン停止
 - ・補機バッテリー電圧が9V以上
- ③確認後 [次へ] を選択し、学習値の初期化を行う。
※画面に学習値初期化に失敗したことが表示された場合、実施条件の確認を行い、もう一度学習値初期化を行う。
- ④学習値初期化完了後、データモニタにてA/F学習値 (A/Fアイドル学習値 (Port) バンク1、A/F低負荷学習値 (Port) バンク1、A/F中負荷学習値No.1 (Port) バンク1、A/F中負荷学習値No.2 (Port) バンク1、A/F高負荷学習値 (Port) バンク1、A/Fアイドル学習値バンク1、A/F低負荷学習値バンク1、A/F中負荷学習値No.1バンク1、A/F中負荷学習値No.2バンク1、A/F高負荷学習値バンク1) を確認する。
結果：すべてのA/F学習値に0が表示されていれば初期化は正常に終了している。A/F学習値に1つでも、0以外の数値が表示されている場合は、再度初期化作業を行う。再度の初期化作業後A/F学習値の再確認を行い、0以外の数値が表示されている場合は、エンジンコントロールコンピュータを交換する。

2 アイドル学習

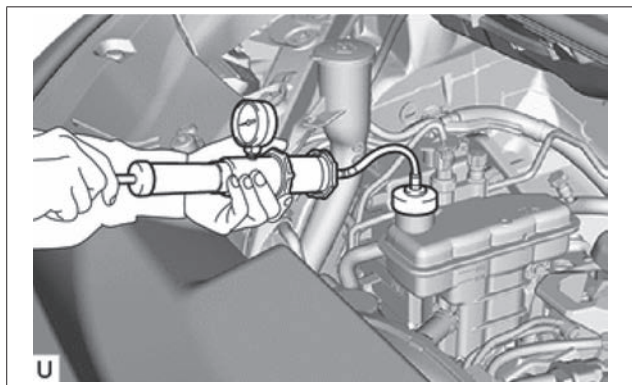
- ①IG OFFにして、30秒以上待機する。
- ②車両を“整備モード (2WD (排ガス測定用))”にセットする。
- ③エンジンを始動する。
- ④GTSを使用して、以下のメニュー項目を選択する。
パワートレイン > エンジン > データモニタ > エンジン冷却水温
- ⑤エンジン回転状態でデータモニタのエンジン冷却水温が70℃以上になるまで暖機する。
- ⑥IG OFFにし、再度READY ONにする。
- ⑦Pポジションの状態アクセルレターペダルを軽く踏み、エンジンを始動させる。
- ⑧エンジンが停止するまで待機する。
※通常1分以内でエンジンが停止する。ただし、SOCが低いと3分程度エンジンが停止しない場合がある。
- ⑨GTSを使用して以下のメニュー項目を選択する。
パワートレイン > エンジン > データモニタ > ISC学習完了
- ⑩ISC 学習完了が“完了”であることを確認する。
- ⑪車両を“整備モード (2WD (排ガス測定用))”にセットする。
- ⑫エンジンを始動する。
- ⑬GTSを使用して以下のメニュー項目を選択する。
パワートレイン > エンジン > データモニタ > エンジン回転数、アイドル制御



- ④エア抜きが完了したら、インバータリザーブタンク ASSYのMAXまで冷却液を補充し、インバータリザーブタンクキャップを取り付ける。

③ 冷却液漏れ点検

- ①インバータリザーブタンクキャップをインバータリザーブタンクASSYから取りはずす。
 ②インバータリザーブタンクASSYのFULLラインまで規定濃度の冷却液（トヨタ純正スーパーLLC）を注入する。
 ③ラジエータキャップテスターをインバータリザーブタンクASSYに取り付ける。



- ④ラジエータキャップテスターを122kPa（1.2kgf/cm²）までポンピングし、圧力が下がらないことを確認する。
 ※圧力が下がった場合は、ウォーターホース（インバータ冷却液用）、ラジエータASSY、インバータウォーターポンプASSY（モータツキ）およびインバータASSY（コンバータツキ）に冷却液漏れがないことを確認する。
 ⑤ラジエータキャップテスターを取りはずし、インバータリザーブタンクキャップをインバータリザーブタンクASSYに取り付ける。

12 トランスアクスルフルード 取替

※ハイブリッドビークルトランスアクスルフルードはトヨタ純正オートフルードWSを使用する。指定銘柄以外のフルードを使用すると、振動、異音の発生や、故障などの原因になるおそれがある。

※必ずハイブリッドビークルトランスアクスルフルード

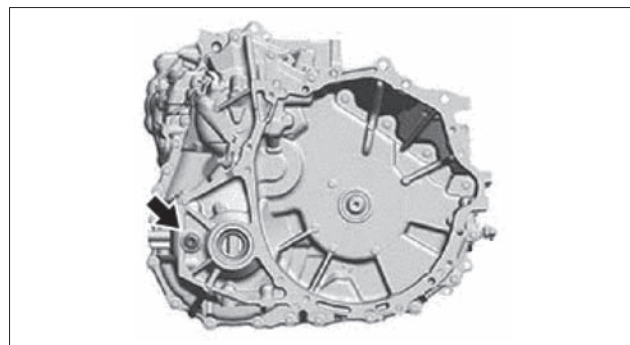
レベルが適正值にあることを直接確認する。

※ハイブリッドビークルトランスアクスルフルード過多、過少はトラブルの原因になる。

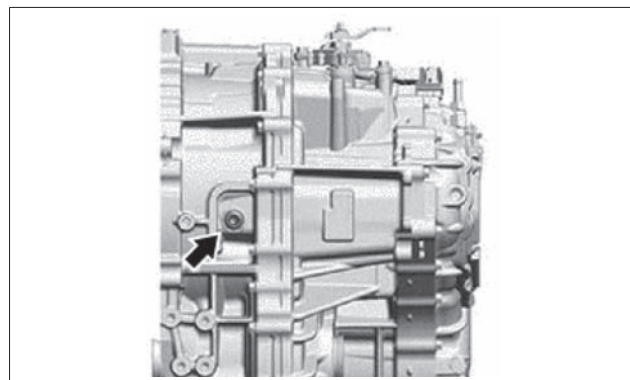
① ハイブリッドビークルトランスアクスルフルード取替

※ハイブリッドビークルトランスアクスルフルードの量点検および交換のみなど、部品の脱着を伴わない場合はオイルポンプASSY W/モータ駆動手順 [* 9] は不要。

- ①車両を水平状態に保ちリフトアップする。 [* 1]
 ②ソケットヘキサゴンレンチ（10mm）を使用して、フィラープラグおよびガスケットをハイブリッドビークルトランスアクスルASSYから取りはずす。 [* 2]



- ③ソケットヘキサゴンレンチ（10mm）を使用して、ドレーンプラグおよびガスケットをハイブリッドビークルトランスアクスルASSYからはずし、ハイブリッドビークルトランスアクスルフルードを抜き取る。 [* 3]



- ④ソケットヘキサゴンレンチ（10mm）を使用して、ガスケットを介してドレーンプラグをハイブリッドビークルトランスアクスルASSYに仮締めする。 [* 4]
 ※再度ドレーンプラグを取りはずすため、ガスケットは再使用する。
 ⑤フィラープラグ穴下端から0～10mm以内のレベルまでハイブリッドビークルトランスアクスルフルードを補充する。 [* 5]

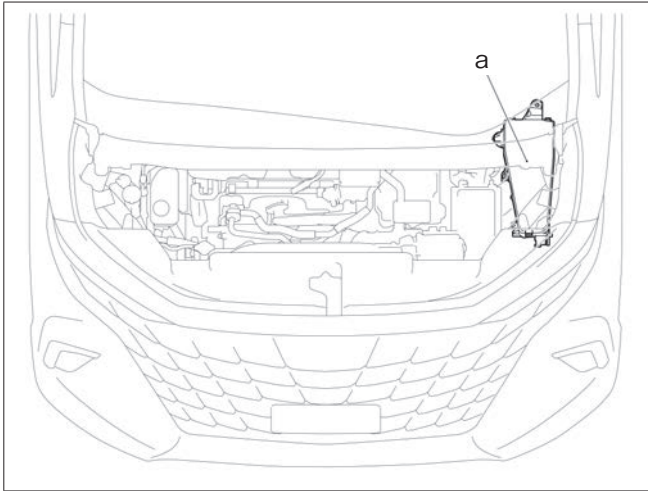
※注入ノズルは奥下までしっかりと挿入する。

※ハイブリッドビークルトランスアクスルフルードはゆっくり注入する。注入速度が速いと、ハイブリッドビークルトランスアクスルフルードが内部部品に当たって跳ね返り、フィラープラグ穴よりあふれ出すおそれがある。

15 リレーロケーション

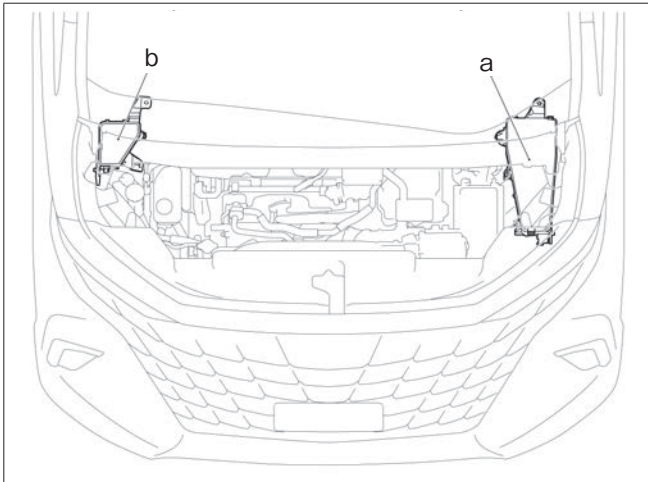
エンジンルーム

1 リレーロケーション (HEV モデル)



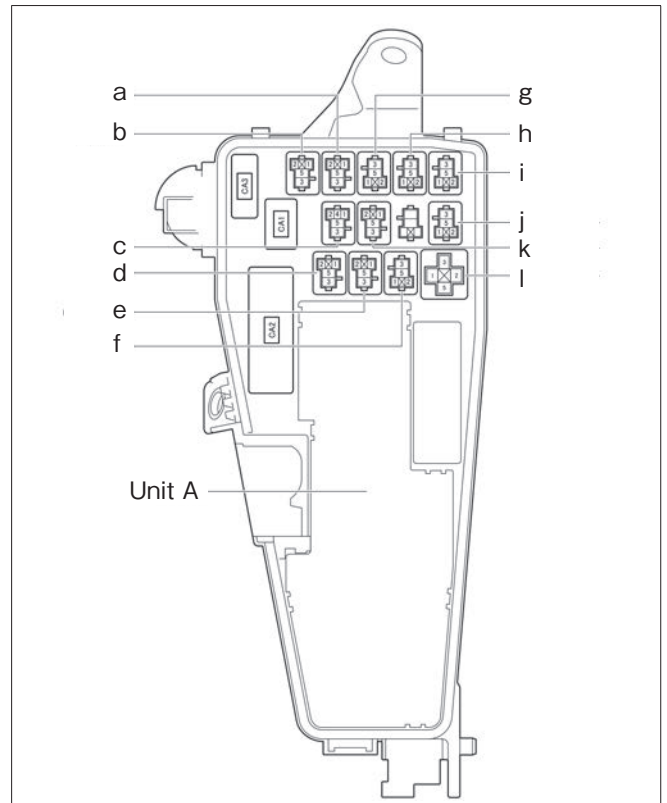
a エンジンルームリレーブロック ASSY NO.1、
エンジンルームジャンクションブロック ASSY NO.1

2 リレーロケーション (PHEV モデル)

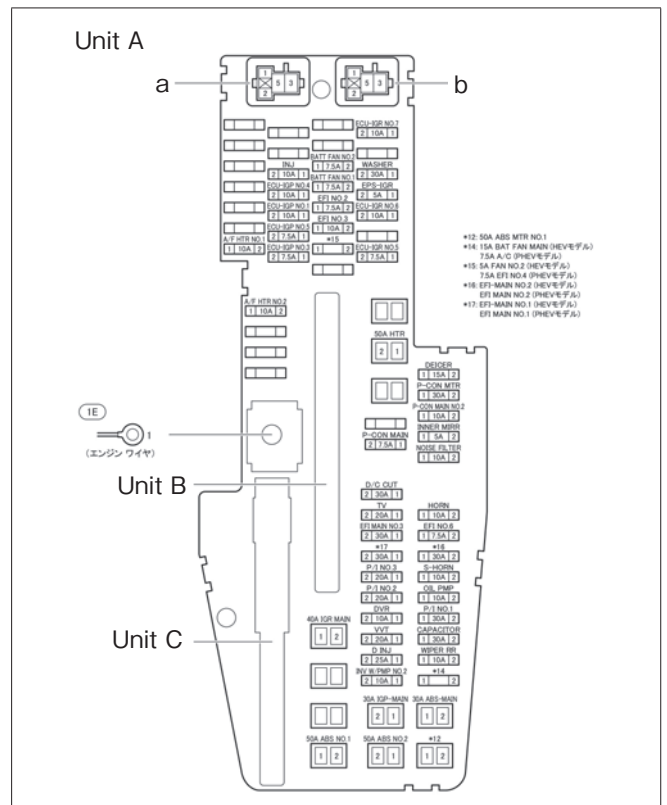


a エンジンルームリレーブロック ASSY NO.1、
エンジンルームジャンクションブロック ASSY NO.1
b エンジンルームリレーブロック ASSY NO.2、
エンジンルームジャンクションブロック ASSY NO.2

3 エンジンルーム リレーブロック ASSY NO.1、 エンジンルーム ジャンクションブロック ASSY NO.1



a	S-HORNリレー	b	D INJリレー
c	DVRリレー	d	VVTリレー
e	BATT FANリレー	f	OIL PMPリレー
g	DEICERリレー	h	INV W/PMPリレー
i	HORNリレー	j	EFI-MAIN NO.1リレー
k	EFI-MAIN NO.2リレー	l	EFI-MAIN NO.3リレー



a	IGP NO.1リレー	b	IGR NO.3リレー
---	-------------	---	-------------

2. カローラクロス (ZVG13・16 系)

《目 次》

1	法定項目の判定基準値		9	ブレーキフルード 取替	
		28		▪ 取り扱い・作業上の注意	38
2	メーカー指定項目			▪ ブレーキフルード 補充	38
		29		▪ ブレーキフルード 取替	39
3	サービスデータ			▪ ブレーキフルード 量点検	39
	▪ ジャッキアップポイント	31		▪ ブレーキライン エア抜き	39
	▪ エンジンオイル	31	10	エンジン冷却液 取替	
	▪ エンジンオイル以外の油脂・冷却液	32			40
	▪ トランスミッタバッテリーの型式	32	11	インバータ冷却液 取替	
	▪ スパークプラグの型式と修理後点検	32			41
	▪ ワイパーサイズ	33	12	トランスアクスルフルード 取替	
4	補機バッテリー				42
	▪ バッテリーマイナス端子取外し後の初期化設定...	33	13	リヤトラクションモータフルード 取替	
	▪ 補機バッテリー型式	33			44
	▪ バッテリー上がり時の処置	33	14	前照灯の光軸調整方法	
5	サービスプラグ脱着				45
	▪ 部品配置図	34	15	リレーロケーション	
	▪ 取り外し	34		▪ エンジンルーム	45
	▪ 取り付け	35		▪ インストルメントパネル	46
6	ゼロボルトの確認				
		35			
7	整備モード				
	▪ 整備モードと主な使用目的	36			
	▪ 整備モード				
	(2WD (排ガス測定用)) への移行操作	36			
	▪ 整備モード				
	(2WD (TRC 禁止用)) への移行操作	37			
	▪ 整備モード				
	(4WD (排ガス測定用)) への移行操作	37			
	▪ 整備モード				
	(4WD (TRC 禁止用)) への移行操作	37			
	▪ 整備モード解除操作	37			
8	IG OFF にできない場合 / レッカー、キャリアが必要なケース				
	▪ IG OFF にできない場合	38			
	▪ レッカー、キャリアが必要なケース	38			



3. クラウンスポーツ (AZSH36・37 系)

《目 次》

1 法定項目の判定基準値

..... 48

2 メーカー指定項目

..... 49

3 サービスデータ

- ジャッキアップポイント 51
- エンジンオイル 51
- エンジンオイル以外の油脂・冷却液 51
- トランスミッタバッテリーの型式 52
- スパークプラグの型式と修理後点検 52
- ワイパーサイズ 52

4 補機バッテリー

- バッテリーマイナス端子取外し後の初期化設定..... 53
- 補機バッテリー型式..... 53
- バッテリー上がり時の処置..... 53

5 サービスプラグ脱着

- 部品配置図..... 54
- 取り外し (HEV モデル) 54
- 取り付け (HEV モデル) 55
- 取り外し (PHEV モデル) 55
- 取り付け (PHEV モデル) 56

6 ゼロボルトの確認

- HEV モデル 56
- PHEV モデル 57

7 整備モード

- 整備モードと主な使用目的..... 57
- 整備モード
(2WD (排ガス測定用)) への移行操作 58
- 整備モード
(2WD (TRC 禁止用)) への移行操作 58
- 整備モード
(4WD (排ガス測定用)) への移行操作 58
- 整備モード
(4WD (TRC 禁止用)) への移行操作 59
- 整備モード解除操作..... 59

8 IG OFF にできない場合 / レッカー、キャリアが必要なケース

- IG OFF にできない場合 59
- レッカー、キャリアが必要なケース 59

9 ブレーキフルード 取替

- 取り扱い・作業上の注意 59
- GTS 使用時
ブレーキフルード 取替 60
ブレーキライン エア抜き 60
ブレーキシステム エア抜き 60
- GTS 不使用時
ブレーキフルード 取替 61
ブレーキフルード 量点検 62
ブレーキライン エア抜き 62

10 エンジン冷却液 取替

..... 63

11 インバータ冷却水 取替

..... 65

12 トランスアクスルフルード 取替

- 取り扱い・作業上の注意 66
- P710 66
- P810 68

13 リヤトラクションモータフルード 取替

..... 70

14 前照灯の光軸調整方法

..... 71

15 リレーロケーション

- エンジンルーム 71
- インstrument パネル 72
- ボデー 73



4. アリア (FEO 系)

《目 次》

1 法定項目の判定基準値

..... 75

2 メーカー指定項目

..... 76

3 サービスデータ

- ジャッキアップポイント 77
- 油脂・冷却水 77
- トランスミッタバッテリーの型式 77
- ワイパーサイズ 77

4 補機バッテリー

- バッテリーマイナス端子取外し後の初期化設定... 77
- 補機バッテリー型式..... 78
- バッテリー上がり時の処置..... 78

5 サービスプラグ脱着

- 部品配置図..... 79
- 取り扱い、作業上の注意..... 79
- 取り外し..... 79
- 取り付け..... 80

6 ゼロボルトの確認

..... 80

7 IG OFF にできない場合 / レッカー、キャリアが必要なケース

- IG OFF にできない場合 81
- レッカー、キャリアが必要なケース 81

8 ブレーキフルード 取替

- 取り扱い・作業上の注意 81
- ブレーキフルード 抜き取り 81
- ブレーキフルード 注入..... 81
- ブレーキフルード エア抜き 82
- ブレーキフルード 量点検 82

9 電動パワートレイン冷却水 取替

- 取り扱い・作業上の注意 82
- 冷却水 抜き取り 82
- 冷却水 注入 (2WD) 83
- 冷却水 注入 (4WD) 85

10 リチウムイオンバッテリー冷却水 取替

..... 87

11 減速機オイル 取替

..... 88

12 リヤファイナルドライブオイル 取替

..... 88

13 前照灯の光軸調整方法

..... 89

14 リレーロケーション

..... 90



5. セレナ (C28 系)

《目 次》

1	法定項目の判定基準値	92
2	メーカー指定項目	93
3	サービスデータ	
	▪ ジャッキアップポイント	94
	▪ エンジンオイル	95
	▪ エンジンオイル以外の油脂・冷却水	95
	▪ トランスミッタバッテリーの型式	95
	▪ スパークプラグの型式	95
	▪ ワイパーサイズ	95
4	補機バッテリー	
	▪ バッテリーマイナス端子取外し後の初期化設定	95
	▪ 補機バッテリー型式	95
	▪ バッテリー上がり時の処置	95
5	サービスプラグ脱着	
	▪ 部品配置図	96
	▪ 取り扱い・作業上の注意	97
	▪ 取り外し	97
	▪ 取り付け	98
6	ゼロボルトの確認	98
7	整備モード	
	▪ 整備モードと主な使用目的	99
	▪ 整備モード (排出ガステストモード) への移行操作	100
	▪ 整備モード (2 輪シャシダイモード) への移行操作	100
	▪ 整備モード (エンジン連続回転モード) への移行操作	101
	▪ 整備モード (クランキングモード) への移行操作	101
	▪ 整備モード (高電圧バッテリー消費モード) への移行操作	101
	▪ 整備モード (P レンジレーシングモード) への移行操作	101

8	IG OFF にできない場合 / レッカー、キャリアが必要なケース	
	▪ IG OFF にできない場合	102
	▪ レッカー、キャリアが必要なケース	102
9	ブレーキフルード 取替	
	▪ 取り扱い・作業上の注意	103
	▪ ブレーキフルード 抜き取り	103
	▪ ブレーキフルード 注入	103
	▪ ブレーキフルード エア抜き	103
	▪ ブレーキフルード 量点検	103
10	エンジン冷却水 取替	103
11	インバータ冷却水 取替	105
12	ギヤボックスオイル 取替	106
13	リヤファイナルドライブオイル 取替	107
14	前照灯の光軸調整方法	108
15	リレーロケーション	108



6. N-VAN e: (JJ3 系)

《目 次》

1 法定項目の判定基準値

..... 110

2 メーカー指定項目

..... 111

3 サービスデータ

- ジャッキアップポイント 112
- 油脂・冷却液 112
- トランスミッタバッテリーの型式 112

4 補機バッテリー

- バッテリマイナス端子取外し後の初期化設定... 112
- 補機バッテリー型式..... 112
- バッテリ上がり時の処置..... 113

5 サービスプラグ脱着

- 部品配置図..... 114
- 取り扱い・作業上の注意 114
- IGB リレー 取外し 114
- 高電圧カプラ 接続外し..... 114

6 IG OFF にできない場合

..... 115

7 ブレーキフルード 交換

- 取り扱い・作業上の注意 115
- ブレーキフルード 交換 115
- ブレーキフルード エア抜き 116

8 電動パワートレイン冷却水 交換

- 取り扱い・作業上の注意 117
- DU 冷却水 交換 118
- DU 冷却水 量点検 118
- DU 冷却水 漏れ点検 119
- IPU 冷却水 交換 119
- IPU 冷却水 量点検 120
- IPU 冷却水 漏れ点検 121

9 ギヤオイル 交換

- 取り扱い・作業上の注意 121
- ギヤボックスオイル 交換 121

10 前照灯の光軸調整方法

..... 121

11 リレーロケーション

- エンジンルーム..... 122
- シート..... 122
- インストルメントパネル..... 122



7. フリード (GT5 ～ 8 系)

《目 次》

1	法定項目の判定基準値		10	エンジン冷却水 交換	
		124		▪ 取り扱い・作業上の注意	132
2	メーカー指定項目	125		▪ エンジン冷却水 交換	133
				▪ エンジン冷却水 量点検	133
3	サービスデータ			▪ エンジン冷却水 漏れ点検	133
	▪ ジャッキアップポイント	126	11	電動パワートレイン冷却水 交換	
	▪ エンジンオイル	126		▪ 取り扱い・作業上の注意	134
	▪ エンジンオイル以外の油脂・冷却液	126		▪ PCU 冷却水 交換	134
	▪ トランスミッタバッテリーの型式	127		▪ PCU 冷却水 量点検	134
	▪ スパークプラグの型式	127		▪ PCU 冷却水 漏れ点検	135
4	補機バッテリー		12	トランスミッションフルード 交換	
	▪ バッテリーマイナス端子取外し後の初期化設定	127		▪ 取り扱い・作業上の注意	135
	▪ 補機バッテリー型式	127		▪ トランスミッションフルード 交換	135
	▪ バッテリー上がり時の処置	127		▪ トランスミッションフルード 量点検	135
5	サービスプラグ脱着		13	リヤデファレンシャルフルード 交換	
	▪ 部品配置図	128		▪ 取り扱い・作業上の注意	136
	▪ 取り扱い・作業上の注意	128		▪ リヤデファレンシャルフルード 交換	136
	▪ 取外し	128		▪ リヤデファレンシャルフルード 量点検	136
	▪ 取付け	129		▪ リヤデファレンシャルフルード 漏れ点検	136
6	ゼロボルトの確認	129	14	前照灯の光軸調整方法	137
7	整備モード		15	リレーロケーション	
	▪ PGM-FI システム メンテナンスモード への移行操作	129		▪ エンジンルーム	137
				▪ インstrumentパネル (右側)	138
8	IG OFF にできない場合	130		▪ インstrumentパネル (左側)	138
				▪ バッテリーパック	138
9	ブレーキフルード 交換				
	▪ 取り扱い・作業上の注意	130			
	▪ ブレーキフルード 交換	130			
	▪ ブレーキフルード エア抜き	131			



8. ヴェゼル (RV5・6 系)

《目 次》

1 法定項目の判定基準値

..... 140

2 メーカー指定項目

..... 141

3 サービスデータ

- ジャッキアップポイント 142
- エンジンオイル 142
- エンジンオイル以外の油脂・冷却液 143
- トランスミッタバッテリーの型式 143
- スパークプラグの型式 143

4 補機バッテリー

- バッテリーマイナス端子取外し後の初期化設定 143
- 補機バッテリー型式 143
- バッテリー上がり時の処置 143

5 サービスプラグ脱着

- 部品配置図 144
- 取り扱い・作業上の注意 144
- 取外し 144
- 取付け 145

6 ゼロボルトの確認

..... 146

7 整備モード

- PGM-FI システム メンテナンスモード
への移行操作 146

8 IG OFF にできない場合

..... 146

9 ブレーキフルード 交換

- 取り扱い・作業上の注意 147
- ブレーキフルード 交換 147
- ブレーキフルード エア抜き 148

10 エンジン冷却水 交換

- 取り扱い・作業上の注意 150
- エンジン冷却水 交換 150
- エンジン冷却水 量点検 151
- エンジン冷却水 漏れ点検 151

11 電動パワートレイン冷却水 交換

- 取り扱い・作業上の注意 151
- PCU 冷却水 交換 151
- PCU 冷却水 量点検 152
- PCU 冷却水 漏れ点検 152

12 トランスミッションフルード 交換

- 取り扱い・作業上の注意 153
- トランスミッションフルード 交換 153
- トランスミッションフルード 量点検 153

13 リヤデファレンシャルフルード 交換

- 取り扱い・作業上の注意 153
- リヤデファレンシャルフルード 交換 153
- リヤデファレンシャルフルード 量点検 154
- リヤデファレンシャルフルード 漏れ点検 154

14 前照灯の光軸調整方法

..... 154

15 リレーロケーション

- エンジンルーム 154
- インストルメントパネル 155
- バッテリーパック 155

